

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	緑を楽しむ講座 千葉「カラムシの繊維を取り、根付にする ～ちよっぴりSDGsに貢献～」		
開催日時	2023年7月27日(木)	10時	～ 14時
開催場所	船橋県民の森	一般参加者	12名

活動概要 被服のための繊維植物カラムシの歴史と現在を学び、カラムシの繊維・糸作りの様々な工程をカラムシの育成地で体験する講座です。できた糸は、紐型しおりに仕上げました。(二つ折りにすると根付・ストラップに、小さな輪も付けて作るとプレスレットとしても使えるものです。) カラムシは、縄文時代には、すでに衣服を作る材料として使われ始めていた繊維植物です。

江戸時代に綿を庶民が使えるようになるまで、身近で栽培され、衣服の自給自足生活を支えてきました。



今現在は、越後上布、カラムシ織り、苧麻布 などが、(葉落とし) 極わずかな場所でのみ生産されています。職人が減っているため、存続が危ぶまれるほどカラムシに関わる技術は貴重なものとなっています。



(糸より) (越後上布…国の重要無形文化財第1号、昭和村カラムシ生産と苧引き…国選定保存技術指定)

講座では、このカラムシの刈り取り・葉落とし・Z折り・繊維取り・糸よりを体験し、全員が作品作りまでを楽しむことができました。苧引きに近い繊維取りにも見学後、多数の方が挑戦。(船橋県民の森によるカラムシ育生地紹介)

私達の衣服の材料は、今、7割が石油から作られたプラスチックとなっていることから、SDGsミニクイズにも挑戦していただきました。(海のマイクロプラスチックの35%が洗濯でできたとのVOEG hp2021.3.9、2050年の海洋プラスチックごみが魚の重さを超えるとの予測、天然素材の各種代替プラスチックが開発されていることを研究者が広く市民にも知って欲しいと願っている状況 等の紹介) 昼休憩には、森のミニツアーも実施。

最後の振り返りでは、感動、感激、重要、すごく楽しかった、面白かった、貴重な体験、すごい経験、感心、すごく考えさせられる、すごい知恵 などの言葉をほぼ全員が使って気持ちを表現されていました。



お隣さんとも
和気あいあいと



見事!
しおりの
完成

糸よりエアー練習…コロコロ節



F I C 講師：西河内ひとみ